

# 波紋

1989

# 7

先日、新聞紙上で、ある家電メーカーによるたいへんおもしろいアンケートが記載されておりました。  
15の問題にユニークあふれる回答がされていきました。  
これは『おもしろいぞ』と思いいつ5つの問題に絞って森松でもやってみることにしました。

### アンケート

問1 仕事・地震がきました。あなたは何を持ち出しますか？。

問2 あなたに7歳の子がいると仮定して『おとうさん(おかあさん)、会社で毎日どういうことしてるの?』と聞かれました。どう答えますか？

問3 1分以内で自画像を描いて下さい。  
問4



セリフを考えて下さい。

問5 森松の「セクシー」なところを何が何でも見つけて書き出して下さい。

森松の社員からどんな回答が飛び出してくるのか御期待下さい。きっと、個性あふれるユニークな回答が勢揃いする事でしょう…。

今回は、予告編として問3の回答を3つ御紹介致します。



## 交 差 点

### コミュニケーションを良くしよう

七月一日より人事移動を行います。

橋本さんが退社して営業事務の方も大変だと思えます。でも、若いアシストも最近実力を付けているので、大丈夫。

営業各課が「部」に昇格し、従来より一味違った活動を期待している。各部長の個性を生かし大きな土俵で暴れて欲しい。社員の皆さんは自分はまだ若いと思っているかもしれないが、世の中にはもっと若い人が、(30才前の若人) たくさん、色々な分野で活躍しています。目標を高く掲げ、各人のコミュニケーションをより良くし、力を合わせて、目標達成しましょう。

会社は、社員全員とパートナーさんの気持ちが一つになって、はじめて大きな力になる。バラバラでは、相殺して、パワーにならない。製造担当・商品管理・配送担当・総務担当・営業担当の皆さんが相互的に行動しないとロスが多く、ライバルに勝てない事になる。

明るく、元気で、素直な気持ちで、報・連・相・(ホールソン) しましょう。

今やらねば、いつ出来る!!

自分がやらねば、誰がやる!!

森 信之



## トシ君の一方通行

### 「無関心」

やれと言われた事はギリギリやる。やれと言わなきゃ適当にやる。こういう雰囲気無きにしもあらず。一步先を見て、考えて行動をするという事に「無関心」である。

上役の発言に無関心であり、(こりゃ上役が悪いけど) お客様の要望に無関心であり、(これはお客は悪くないわなあ) 世の中の動きに無関心であり、当然決められた時間に効率を上げ終了するという事に無関心である。給料には関心があり、どっか遊びに行く事には関心がある。それはそれで大変結構であるが、その為には利益を上げるという事が必要であるという事には無関心である。治療はしますが、出来れば注射はうちたくないわな。

木村 英利



## 「フォーシーズン」

### ハイ・ハイ

私が森松に入社した当時、上司に、返事は1回/酷く怒られたことがあります。

自分では、ぜんぜん気が付かず、言っている人が多いと思いますが、良いことではありません。

行為で、ハイ・ハイと返事する人を見ますが、まああまり大した人はいませんね。

返事とは、違うのですが、電話をすると、ハイ・ハイと出る。○○○○様ですかと、確認する、気分の良いものではありません。何度

も話をしている人は、ハイ・ハイの声でわかるので安心して話を進めることが、出来るのですが、社員の多い会社・課の多い会社へ電話した時にハイ・ハイと、対応される○○○

○様ですかと確認する。

男性がハイ・ハイと電話に出る会社は、女性もハイ・ハイと出ることが多いのです。

多分新入社員の時に上司に電話は、ハイ・ハイで出るのでですよと教えてもらったのでしょね。

光田 昭男



## 退社挨拶

森松に入社して六年三ヶ月、遂にこの様な挨拶を書かなければいけない時が来てしまいました。

最初この会社に来て先づ感じた事は、やけに若い人(男性)が多い会社だなあと、何だか不思議な気がした事を覚えています。

(現在は若くて可愛い女性も沢山いますが)若くてハンサムな男性が多い、もうそれだけです。つまりこの会社で働く気になったのも事実。明るく活気のある会社の中で、私もいろいろな体験出来、また若い人達の素晴らしい人間的成長を間近に見る事が出来本当に幸せでした。

そしてまた社内報の編集という全く未経験の事ながら創刊号から携わり、色々苦しい事もありましたが、この社内報「波紋」が社内だけでなく、お得意様、メーカー様に森松という会社のカラー・姿勢等を知っていたたく非常に良い材料だった様で、思わぬ反響にとても励まされ貴重な体験をさせて頂きました。本当に多くの方々読んでいただいている「波紋」に微力ながら自分も加わっていた事に、今誇りを感じています。

お得意様、メーカー様そして森松の皆様本当に色々お世話になりました。いたらない事ばかりで皆様には何かと御迷惑お掛けしました事をここで深くおわび致します。

遠く北の地より森松の輪がさらに大きくゆるぎない物に発展していく事を信じて祈っています。沢山の良い思い出をありがとうございます。

橋本 正子

お誕生日

おめでとーございます!!



岡田洋子  
(パートさん)  
昭和〇〇年  
七月二十七日  
生まれ

A 普段、静かにしてて、突然思い切った事をする子供。

B 雨の日、いじめっ子の男の子に長靴ぶつけてあとで、母親と謝りに行った事。(五才の頃...)

C 運転しながら一人で音楽を聴く(家の中では、静かになれる時が、ないので。)

D 三人の子供が独立したら、時間を思いきり自分のものにした。



伊藤ちはる  
(営業アシスタント)  
昭和〇〇年  
七月三十日生まれ



A 内気な子供でした。

B 小学生の時、学校の帰りに大きな犬にほえられて、泣きながら、近くに居た屋台の焼きイモ屋のおじさんに、おんぶしてもらって帰って来た事。

C 料理を作る事。  
—趣味というより「修業中」かな?—

D 結婚するコト ♡



新社屋建設に思うこと

今、いよいよ新社屋建設のことで、会社全体で話し合いがなされている。

予算内での設計で、どの位の広さで、どの位のものか建つのか楽しみでもあり、不安でもある。そして、新事務所内のレイアウトしたいろんな写真を見ていて、ついつい昔を思い出します。

私の働き始めた時の中区の事務所のことを：

確か机は3つ、広さは六畳弱位かな？

荷物棚と事務所の仕切は無し、机のすぐ後が荷物棚、暖房は、大きな火鉢。

寒がりの私は冬など、頭の中まで凍りついてしまつて、思考力ナシの状態になったりしたことなどを...

そして、狭い20坪程の中を工夫して、小屋を増築したり、夏は夏で、トタン屋根の下では暑さに耐えきれず、バケツの中に足をに入れて事務をしたりの日々...

そして、年月を重ねる品物が増え、車が増えて置場に困る様になり、中村に倉庫と住宅を建て、更に、今のこの場所の透明倉庫を配送センターとして作り、昭和四十七年に今のたいやき君の所の建物を事務所として建て、会社を全部こちらに移してきたのです。

そして、裁断場と縫製場、次に一号プレスの建物、今の事務所。この事務所と前の事務所の間、屋根を張り、テント倉庫、駐車場と広げてきて、いよいよインテリジェントビルではないが、今の時代に合った新事務所建設と、相成った次第です。

皆の夢がいっぱい入った新事務所や、作業場で、来年の今頃は仕事をしていることになっています。

ここまで書いてきたら、胸がワクワクしてきました。来年が楽しみだなあー!!

森 ちか

# 今月の社内行事

- 七月 三日 幹部会議 午前七時半より
- 四日 YMS 午前七時半より
- 五日 中賢幹部会議 午前七時半より
- 七日 FMS 午前七時半より
- 八日 第二土曜日 休業  
野球試合  
（瀬戸市民球場にて）
- 十日 幹部会議 午前七時半より
- 十五日 第三土曜日 休業
- 十七日 幹部会議 午前七時半より
- 二十四日 幹部会議 午前七時半より
- 二十九日 第五土曜日 休業
- 三十一日 経営会議 午前七時半より

1989

7							8							9						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1			1	2	3	4	5						1	2
②	3	4	5	6	7	⑧	⑥	7	8	9	10	⑪	⑫	③	4	5	6	7	8	⑨
⑨	10	11	12	13	14	⑮	⑬	⑭	⑮	⑯	17	18	19	⑩	11	12	13	14	⑮	⑯
⑯	17	18	19	20	21	22	⑳	21	22	23	24	25	⑳	⑰	18	19	20	21	22	⑳
⑳	24	25	26	27	28	⑳	㉑	28	29	30	31			㉒	25	26	27	28	29	30
㉓	31																			

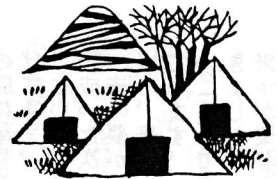
  

10							11							12						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
①	2	3	4	5	6	7				1	2	③	④						1	②
⑧	9	⑩	11	12	13	⑭	⑤	6	7	8	9	10	⑪	③	4	5	6	7	8	⑨
⑮	16	17	18	19	20	21	⑫	13	14	15	16	17	18	⑩	11	12	13	14	15	16
⑳	23	24	25	26	27	⑳	⑬	20	21	22	⑳	24	25	⑰	18	19	20	21	22	23
㉑	30	31					㉒	27	28	29	30			㉒	25	26	27	28	⑳	㉓
														㉑						

## クイズコーナー

1個45円のりんごがある。これを70円のくだものかごにいくつつめて、全体の金額を500円以下にしたい。りんごの個数をどのようにすればよいか。

どしどし解答をお寄せ下さい。  
締切は7月17日  
正解者には景品をお送りします。



## ●編集後記

あじさいからこぼれる雨の雫…。六月が終わり梅雨が明けると、いよいよ夏到来です。夏、海。幼い頃、あんなに大好きだった海も大人になるにつれ、だんだん遠ざかっていきます。今年こそは…と思っはいるもの、照りつける太陽に勝てるかどうか…。

また男性の方には思わず「うまいっ！」と言ってしまうほど、ビールのおいしい季節なのではないでしょうか。とはいっても飲み過ぎには気を付けて下さいね。ところで、二代目編集長橋本さんがこの六月末で退社されます。森松にはなくてはならない方だったので、社員一同、複雑な心境です。不安でもあり寂しくもなりますが、元気を出して笑顔で送りたいと思います。橋本さん、長い間お疲れ様でした。

宝田かおる

編集発行者  
森松株式会社

発行責任者  
伊東郁二  
平成元年7月1日  
第49号